

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成20年5月8日(2008.5.8)

【公開番号】特開2007-68215(P2007-68215A)

【公開日】平成19年3月15日(2007.3.15)

【年通号数】公開・登録公報2007-010

【出願番号】特願2006-294673(P2006-294673)

【国際特許分類】

H 04 N 7/32 (2006.01)

【F I】

H 04 N 7/137 Z

【手続補正書】

【提出日】平成20年3月26日(2008.3.26)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

輝度と二つの色差とを有する動画像が動き補償予測符号化された符号化データから前記動画像を復号化する動画像復号化方法において、

(1) 輝度及び二つの色差に関する予測誤差信号の量子化直交変換係数と、(2)動きベクトルの情報と、(3)(A)参照画像、(B)輝度及び二つの色差毎の重み係数、(C)輝度及び二つの色差毎のオフセット、を含む組み合わせを示すインデックス情報と、が復号化対象ブロック毎に符号化された符号化データを入力として受けるステップと、

前記インデックス情報から、前記復号化対象ブロック毎に前記参照画像、前記重み係数及び前記オフセットを求めるステップと、

前記量子化直交変換係数を逆量子化及び逆直交変換することにより、前記復号化対象ブロック毎の予測誤差信号を生成するステップと、

前記復号化対象ブロック毎の動きベクトルに従って、前記参照画像に前記重み係数を乗じてから前記オフセットを加算することにより、前記復号化対象ブロック毎の動き補償予測画像を生成するステップと、

前記予測誤差信号と前記動き補償予測画像との和を求ることにより、前記復号化対象ブロック毎の復号画像信号を生成するステップと
を備える動画像復号化方法。

【請求項2】

輝度と二つの色差とを有する動画像が動き補償予測符号化された符号化データから前記動画像を復号化する動画像復号化装置において、

(1) 輝度及び二つの色差に関する予測誤差信号の量子化直交変換係数と、(2)動きベクトルの情報と、(3)(A)参照画像、(B)輝度及び二つの色差毎の重み係数、(C)輝度及び二つの色差毎のオフセット、を含む組み合わせを示すインデックス情報と、が復号化対象ブロック毎に符号化された符号化データを入力として受ける手段と、

前記インデックス情報から、前記復号化対象ブロック毎に前記参照画像、前記重み係数及び前記オフセットを求める手段と、

前記量子化直交変換係数を逆量子化及び逆直交変換することにより、前記復号化対象ブロック毎の予測誤差信号を生成する手段と、

前記復号化対象ブロック毎の動きベクトルに従って、前記参照画像に前記重み係数を乗

じてから前記オフセットを加算することにより、前記復号化対象ブロック毎の動き補償予測画像を生成する手段と、

前記予測誤差信号と前記動き補償予測画像との和を求ることにより、前記復号化対象ブロック毎の復号画像信号を生成する手段と
を備える動画像復号化装置。